

彼方小だより

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和5年3月号

「見て！見て！」

校長 藤井 貞彦

日に日に寒さもやわらぎ、各地で梅や桃の花の便りが聞かれるようになってきました。暖かな春の訪れを感じる今日この頃です。今年度も残すところ1ヶ月になり、各学年のまとめに取り組んでいます。特に6年生は、卒業に向けて慌ただしい毎日を送っています。また、この1年間リーダーとして彼方小学校を引っ張ってくれた6年生を送り出すために、学校全体で卒業行事に取り組んでいます。3月16日の卒業式では、6年生みんなが胸を張って巣立ってくれることを信じています。

「校長先生 見とってや！」「二重跳びの回数数えてな！」「一緒に跳ぼうや！」

休み時間に運動場に出ると、あちこちから子どもたちの声が飛んできます。特に低学年の子からは「〇〇を見てて」というリクエストが多く、順番を守らせるのに一苦労です。このところは縄跳びが多いですが、鉄棒・ボール投げ・フラフープ等その時々で、いろいろな技をみせてくれます。

ご家庭でもお子さんが小さかった頃は「見て見て！」の連発に困った時もあったのではないのでしょうか。（私も娘・息子の「見ときや〜」の連発に、困った時期があったことが思い出されます）

こちらが忙しい時や余裕のない時はつい適当な対応になりがちですね。でも、子どもにとっては「承認欲求」（認めて欲しい・ほめて欲しい）や「安全欲求」（安心したい・見守って欲しい）を満たすという大切なことなのです。このような経験を通じて「自己肯定感」や「安心感」が高まって、自分でいろいろなことにチャレンジできるようになります。ある研修会でオリンピック選手の講演を聞いたのですが、人生の恩師の一人に中学時代の部活の顧問の先生を挙げておられました。「全く競技経験がないので技術指導を受けたことは一度もなかったが、いつも自分たちの練習を見守り、努力したことをすべて受け入れてくれた。その安心感が自分の可能性を引き出す原動力になった。」と語っておられたのが強く印象に残りました。私も子どもたちの健やかな成長のために、これからも「見て見て！」をしっかりと見守っていきたいと思います。

今年度もいよいよあと1ヶ月となりました。3月は英語で言うと「March（マーチ）」です。これは戦争と農耕の神「Mars（マルス・マーズ）」を由来としています。3月は気温が上がり、雪が解け始めます。この頃から軍隊は進軍を始め、農村では土を耕し作物を作り始めます。古代ローマではこの3月をスタートの月として位置づけていました。一般的に3月は「別れの季節」ととらえられていますが、新しい出会いに向けての「スタート」とも考えられます。本校でも新しい年度に向けてのスタートの期間ととらえ、1年の締めくくりをしっかりとっていきたいと思います。ご家庭でも変わらぬご支援ご協力をお願いします。